小 論 文　問 題 用 紙

令和６年１月１日に、石川県能登地方を震源とした能登半島地震が発生しました。被災地域での生活は、心身の疲労に加え、普段と異なる生活により多くの問題が生じます。特に、高齢者の方々は、避難所での生活環境の変化や、運動不足、社会とのつながりの希薄化などにより、心身に大きな負担がかかりやすく、その結果、生活不活発病を発症するリスクが高くなります。避難所という「動きにくい」環境下にある高齢者らは、実際に「動かなく」なり、最終的に「動けなくなる」という悪循環を招くことがあります。災害などにより「動かなくなる」状態が続くことで、心身の機能が低下してしまう病気が「生活不活発病」です。能登半島地震においても発災から１か月程度が経過したのち発症するケースが多数確認されています。

問題１　生活不活発病の課題を読み取り、箇条書きで示しなさい。

問題２　同様の災害が発生した際に、例文に示した「生活不活発病」に対してどのような対策が必要かを、具体的な根拠とともに、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。